



大垣市防災センター



防災センターのご案内

開館時間 午前9時～午後9時まで
 休館日 年末年始(12月29日～1月3日)
 利用区分 午前：午前9時～午後1時まで
 午後：午後1時～午後5時まで
 夜間：午後5時～午後9時まで

※会議室使用時に冷暖房を使用する場合は下記の使用料が必要です。

時間区分	午前	午後	夜間	全日
使用区分	午前9時から 午後1時まで	午後1時から 午後5時まで	午後5時から 午後9時まで	午前9時から 午後9時まで
会議室1	800円	800円	800円	2,400円
会議室2	800円	800円	800円	2,400円
会議室1・2	1,600円	1,600円	1,600円	4,800円

お問い合わせ
 及び
 申し込み場所

大垣市役所 管理課 TEL 0584-81-4111
 FAX 0584-81-3302
 月曜日～金曜日(祝日は除く)/午前8時30分～午後5時15分
 ※あらかじめ、管理課にて使用許可申請をしてください。
 ※使用日の3か月前から7日前までにお申し込みください。

大垣市防災センター

大垣市馬の瀬町1154番地3
 TEL・FAX 0584-89-5961



平成22年4月
 大垣市

防災センターの概要

大垣市は、揖斐川、長良川をはじめ多くの河川が網目状に流れる水郷地帯で、上石津町を除くほぼ全域が海拔3～6メートルの低地であり、豊かな水の恵みを受け一方、水との戦いを続けてきました。

このような中、大規模な洪水などが発生した場合に対処するため、国土交通省が「揖斐川大垣河川防災ステーション」を整備し、緊急時のためのヘリポートや水防資材（テトラポット・土砂）を備えました。市も国と連携し、防災力のさらなる向上を図るため「大垣市防災センター」を整備しました。

経緯

- 平成16年 3月—— 揖斐川難波野地区河川防災ステーション整備計画の承認
- 平成18年10月—— 造成工事(国施行)着工
- 平成21年 8月—— 防災センター建設工事の着工
- 平成22年 3月—— 防災センター完成
- 平成22年 3月—— 揖斐川大垣河川防災ステーション完成

防災センターの機能

防災センターは、災害時に市対策本部と連携して情報収集、応急対策および復旧を迅速に行う拠点となる施設で、防災用資材の備蓄を図るとともに、緊急車両用車庫には、国土交通省が排水ポンプ車および照明車の配備をしています。

また、平常時には、防災意識の向上を図るため、防災活動に従事している団体などの講習会や小学生の防災学習などにも活用されます。

所在地	大垣市馬の瀬町 1154 番地 3
床面積	480.14㎡
構造	鉄骨造平屋建て
主な施設	防災活動指令室 水防資材置場 防災資材置場 会議室 1・2 緊急車両用車庫
その他施設	トイレ(男子、女子、多目的)



施設内容

緊急車両用車庫(国土交通省が配備)

▼排水ポンプ車(30㎡/min 級)2台



- 1秒間にドラム缶2.5本分の水を排出できます。
- 排水ポンプの重量は約35kg(1ケーブル20kg)で油を人力で行うことができます。
- 車両に発動発電機・ポンプ・ホースを備えており、全ての作業を本機だけで行うことができます。

▼照明車(25KVA、4x4)1台



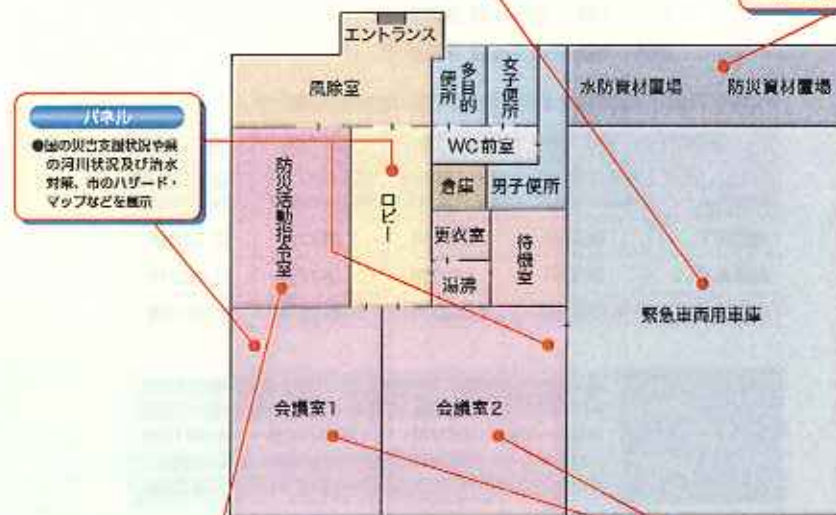
- 1回の給油で約28時間連続で照明作業を行うことができます。
- 電源供給用としても使用する事ができます。
- 7階建てのビルの屋上と向き高さから照らすことができます。

水防資材置場

- 土のう袋(2,000袋) 掛けや(6本)などを備蓄

防災資材置場

- 投光器(4機) エンジンカッター(3台)などを備蓄



パネル

- 国の災害支援状況や県の河川状況及び治水対策、市のハザードマップなどを表示

防災活動指令室



- 国土交通省が光ケーブルを利用した情報収集端末、河川監視用モニターを配備し、災害時には、関係機関との情報の共有を図ることができます。

会議室



- 会議室 1・2 ●使用人数 / 60名
- 一時避難場所等として活用し、平常時は、防災関係団体などの研修などに活用